

科目名		学科/学年	時期	授業形態
美容の歴史とフェイシャル理論		スパ・セラピスト学科 /1年	通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	120回	8単位(120時間)	必須	
授業の概要				
<p>エステティックの歴史を学びつつ、海外での発展や日本においてどのように広がってきたのか、さらにエステティックとは何かを学ぶ。            フェイシャル理論では、お客様の求めるフェイシャルトリートメントを行う為の皮膚科学、化粧品学を中心に法律も含め総合的な基礎を学ぶ。又、サロンを運営していくために必要な知識や接客マナーの基礎を学ぶ。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>エステティックの歴史や語源を学び、エステティックとは何か総合的に理解してもらう。            フェイシャルトリートメントを行う上で必要な皮膚の構造や働き、化粧品の成分や効能の基礎を学び、お客様に安全かつ効果的な施術が出来る様なセラピストを目指す。</p>				
教員紹介				
<p>エステティックサロンにて勤務経験のある講師が、実務経験に基づいて授業を行う。</p>				
回	テーマ	内 容		
1～3	エステティック概論①	エステティックとは～エステティックの語源とその意味～		
4～6	エステティック概論②	エステティックの歴史～日本、諸外国における歴史～		
7～9	エステティック概論③	エステティックの分類とこれからのエステティック		
10～12	エステティック機器学①	電流の三大作用、電気に関する用語		
13～15	エステティック機器学②	電気の種類		
16～18	エステティック機器学③	光の種類、電気の安全対策		
19～21	関係法規①	法の基礎知識、職業と法、日本の資格制度		
22～24	関係法規②	エステティック関連法規(契約、施術・カウンセリング、化粧品・食品等)		
25～27	化粧品学①	化粧品の定義と役割		
28～30	化粧品学②	化粧品の原料・成分①		
31～33	化粧品学③	化粧品の原料・成分②		
34～36	化粧品学④	化粧品の原料・成分③		
37～39	化粧品学⑤	化粧品の原料・成分④		
40～42	化粧品学⑥	基礎化粧品		
43～45	皮膚科学①	皮膚の構造①		

回	テ ー マ	内 容
46～ 48	皮膚科学②	皮膚の構造②
49～ 51	皮膚科学③	皮膚の構造③
52～ 54	皮膚科学④	皮膚の構造④
55～ 57	皮膚科学⑤	皮膚の構造⑤
58～ 60	皮膚科学⑥	皮膚の付属器官（皮脂腺、汗腺）
61～ 63	皮膚科学⑦	皮膚の付属器官（毛、起毛筋、爪）
64～ 66	皮膚科学⑧	皮膚の生理機能①
67～ 69	皮膚科学⑨	皮膚の生理機能②
70～ 72	皮膚科学⑩	皮膚の生理機能③
73～ 75	皮膚科学⑪	ニキビ
76～ 78	皮膚科学⑫	シミ
79～ 81	皮膚科学⑬	敏感肌
82～ 84	皮膚科学⑭	皮膚科学まとめと総括
85～ 87	サービスマナー①	サービススタッフに必要とされる要件
88～ 90	サービスマナー②	サービスマナーの基本、挨拶で始まるおつきあい
91～ 93	サービスマナー③	お辞儀、身だしなみ
94～ 96	サービスマナー④	表情（笑顔）、魅力ある発声法
97～ 99	サービスマナー⑤	基本動作
100～ 102	サービスマナー⑥	挨拶、お辞儀、発声法の実践練習①
103～ 105	サービスマナー⑦	挨拶、お辞儀、発声法の実践練習②

回	テ ー マ	内 容		
106～ 108	サービスマナー⑧	挨拶、お辞儀、発声法の実践練習③		
109～ 111	サービスマナー⑨	挨拶、お辞儀、発声法の実践練習④		
112～ 114	サービスマナー⑩	挨拶、お辞儀、発声法の実践練習⑤		
115～ 117	サロン経営学①	エステティック産業について		
118～ 120	サロン経営学②	サロン運営		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
【概論・機器学・法規・】 日本スパ・ウエルネス協会 ソワンエステティック理論Ⅰ 【皮膚科学・化粧品学】 日本スパ・ウエルネス協会 ソワンエステティック理論Ⅲ 【サービスマナー・サロン経営学】 日本スパ・ウエルネス協会 ソワンエステティックサービスマナー		出席率 授業態度 小テスト 期末試験	10.0% 10.0% 10.0% 70.0%	